

■ のしろ 能代園芸の開祖

村井 菊蔵

むらい きくぞう

出身地 能代市

1875年（明治8年）～1947年（昭和22年）

のしろ さきゆうち 能代の砂丘地でのナシ栽培さいばいで知られる。試作した
かじゆ 果樹、野菜の品種は数百と言われ、新品種の作出に
も成功。ばんねん 晩年は園芸技術の指導つに尽くした。



年譜

- 1875年 のしろ 能代市に生まれる。幼名・喜久蔵。ようめい きくぞう
- 1887年 ていじょうじんじょう 湊城尋常高等小学校卒業。
- 1894年 たくち かじゆ 宅地内で果樹、野菜の栽培さいばいを始める。
- 1902年 さきゆうち かいこん 砂丘地を借りて開墾、果樹・野菜を栽培。
ナス、キュウリのおんしょうさいばい 温床栽培を開始。このころ
ナス「菊千成」きくせんなり、マクワ「菊甜瓜」きくまくわの作出に成功。
- 1907年 全国にさきがけナシ鉄線棚架たなかけを考案。
- 1911年 能代青年園芸研究会を結成し、副会長しゅうにんに就任。
- 1919年 山本郡農業技手ぎてとなる。28年、秋田県農会技師。
- 1947年 のしろ ぼつ さい 能代市で没。72歳。